

12月定例会 議案等の審議結果一覧

[illegible]

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、欠席：－、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△

※議案の全文及び議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

12月定例会には、市長から、監査委員の選任についての議案が提出され、議会は、これに同意しました。

監査委員
草薙 信久（敬称略）
（審議結果は左表）

12月定例会には、新たに
請願2件が提出され、所管
の委員会で審査しました。
議会は、これら2件をい
ずれも採択しました。

（審議結果は左表）

12月定例会には、意見書案6件が提出され、議会は、このうち4件を可決し、2件を否決しました。

可決した意見書は、12月20日に関係行政庁等へ送付しました。

（審議結果は左表）

人事議案

請願

意見書

義務教育費国庫負担制度の 堅持に関する意見書（要旨）

義務教育は憲法の要請に基づき、子どもたち一人一人が国民として必要な基礎的資質を培うためのものである。教育の全国水準や機会均等を確保する義務教育の基盤づくりは国の責務であり、そのために設けられたのが義務教育費国庫負担制度である。

かつては教材費、旅費、児童手当など多くの経費が対象となっていたが、次第に対象から除外され給与費のみとなり、2005年には給与費の負担割合が3分の1に縮減された。

現在、地方自治体の状況は様々であり、子どもたちを取り巻く教育環境にも格差が生じている。国民に等しく義務教育を保障するという観点からいえば、財政的に最低保障として下支えしている義務教育費国庫負担制度は必要不可欠である。

よって、本市議会は国及び政府に対し、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く要望する。

○令和6年定例会開会予定日○

2月定例会	2月14日(水)
6月定例会	6月7日(金)
9月定例会	9月6日(金)
12月定例会	11月29日(金)

※上記は予定であり、事情により変更
される場合があります。

[illegible]

※○は会派代表者。 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員３人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。
(この会派別議員名簿は令和６年１月２５日現在のものです。)

●議員からの寄附やあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）は公職選挙法で禁止されています●